

会長：大原浩行 幹事：川上 勉 連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 09.14】

留学生交流事業
in 苫小牧
R財団米山記念委員会



次回のプログラム

【通常例会 10.04】

留学生卓話
Ampomah Millicentさん
R財団米山記念委員会

第1219 例会報告 (2024.09.06)

点 鐘	会長 大原浩行
国歌斉唱・Rソング	奉仕の理想
本日のプログラム	特別月間(Rotary友) 池田直前AG
ゲスト・ビジター	毛利昭男様(竜ヶ崎) 家族会員
会員増強・新クラブ結成推進月間	

会長報告

会長：大原浩行

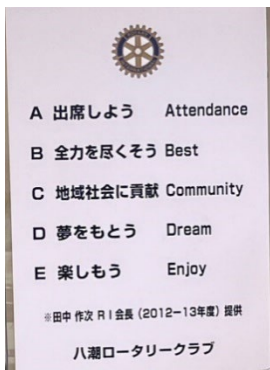


👏皆様こんにちは。大変暑い中、本日は龍ヶ崎R.Cの池田さん、毛利さんようこそいらっしゃいました。池田先生には本日は龍ヶ崎中央R.C 設立時のお話を伺えるとの事で楽しみにしています。

最近「令和の米騒動」とか言われお店の棚から米が無くなっているとニュースで言われていますが、新米が出来てきてもまだ流通量は

通常には戻っていないそうです。日本人の米の消費量が年々減少していることからの減反政策と去年は高温少雨で出来高が多少少なかったそうです。そもそも全体量が減ったところにインバウンド外国人による消費が1割ほど伸び。その上に日本米ブームにより輸出量が2割アップしているそうです。新米価格も60Kで昨年16,000円程度だったものが今年は末端流通価格で24,000円程になっているそうです。しかし緊急時の対応として政府は備蓄米を100万トン備蓄しているみたいです。なぜこれほどまで大騒ぎしているのに備蓄米を出さないのか？あくまでも私の

憶測、妄想に過ぎないのですが「南海トラフ地震、首都直下型地震、富士山噴火」などがマスコミ等で騒がれていますが起きたら唯一需給力がある米を取っておきたいのかなどか思っています。しかしただ単に米の値段を上げて少しでもインフレ目標の達成に寄与し、農家の票を獲得したいと言う政府の思惑が本当のところなんじゃないでしょうか？



幹事報告

幹事：川上勉

- ❖大高ガバナーより先日開催されました公式訪問に対する礼状が届きました。
- ❖ステファニー・アーチック RI 会長エレクトはロータリーの ACTION PLAN 行動計画(方針)を推進することを 2024-2025 年度の重要な目標としています。また、国際ロータリーの理事会は活動の継続性を重要な課題と位置づけ、3か年計画の策定を地域、地区、またクラブに推奨しています。
- ❖「My Rotary」の登録要請がありましたが、9名全員登録完了しました。100%完了です。ご協力ありがとうございました。
- ❖24-25 地区補助金が決定されました。当クラブは「奨学生交流事業 in 苫小牧」に対して700\$ (112,700円)が支給されます。
- ❖年会費のまだの会員は速やかに納入願います。

出席状況

会 員	9 名	出席率	100.00%
出席者	4 名		
WEB出席	2 名	Make-up	3 名
定款第10条(第6-7節除く)		長友会員・伊藤会員・大橋会員	

ニコニコボックス

目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	11,000円	77,000円

MESSAGE

池田 様
毛利 様
大原会員 竜ヶ崎R.C.毛利さん池田さん、本日よろしくお願ひ致します
川上幹事 池田先生・毛利さん本日宜しくお願ひ致します。
海老原会員 今日は何の日 1976年(昭和51年)ソ連のミグ25戦闘機が函館空港に着陸し、ベレンコ中尉がアメリカへ亡命を求めた
横山会員 今日は代理で参加させていただきました。

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。》

本日のプログラム

◆◆ ロータリーの友 ◆◆

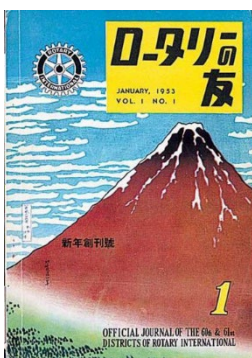
ロータリーの友は国際ロータリーの認可を受けるために次の条件をクリアしています。

- ・ R I が指定した記事を掲載すること
- ・ 国際ロータリーの方針を伝えること
- ・ 年に6回以上発行すること (24P以上)
- ・ 雑誌の内容の50%はロータリーに関係した記事であること
- ・ 読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること
- ・ R I の資金援助を受けず経済的に独立すること

創刊まで

1952(昭和27)年4月25日、大阪市で開かれた地区大会では、次年度(1952-53年度)から日本が2つの地区に分割されることが決定していました。それまで一つの地区としてまとまっていた日本のロータリアンが2地区に分かれるわけですから、寂しさと期待の入り交じった雰囲気があった当時の人々にはあったようです。そのようなロータリアンの気持ちから、2地区になってからも連絡を緊密にするため、共通の機関誌の創刊が企画されました。

第1回の準備会は大阪で開かれました。当時、大阪ロータリークラブ(RC)の星野行則氏がガバナーであったこともあり、同クラブの露口二郎氏が幹事役となって開催されました。東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブ代表者が出席しました。共通の雑誌ということでしたが、東と西では雑誌に対するイメージがかなり違い違っていました。西の星野氏は臆とうしゃ写版刷りの簡単なものでよから早くという意見でしたし、東では臆写版では手軽過ぎて恒久性がない、初めからある程度きちんとしたものを望むという考えでした。最初の会合では具体案の作成には至りませんでした。



第2回の準備会が岐阜RCの遠藤健三氏の世話で、1952年7月、岐阜・長良川畔の大竹旅館で開かれました。この時は、第1回の準備会よりも具体的になり、議『ロータリーの友』の変遷論も沸騰したようです。ここで下記の内容が決定しました。

1. 編集委員は合議制とする。

2. 東京で発行する。

3. 定価50円とするが、広告を募集、掲載し100円の内容のある雑誌とする。

4. 名称は『ロータリーの友』とする。

5. 横書きとする(横書き、縦書きで意見が分かれ、各クラブの意向をうかがうため一般投票を行ったところ、2対1の割合で横書きが採用されることになった)。

6. 創刊は1953年1月号とする

『ロータリーの友』の名前

雑誌の名称は、第2回準備会での投票によって、遠藤健三氏提案の『ロータリーの友』に決定しました。

この名称に対し、柏原孫左衛門氏がおつまみの「ビールの友」からヒントを得たのではと発言、一同爆笑となったそうですが、遠藤氏自身は、後日談として月刊誌『主婦の友』からヒントを得たと述べています。

広告は創刊号から

定価に関しても東西が対立し、遠藤氏が仲裁案として50円案を出しました。雑誌の体裁としては東の活版案になったわけですが、活版で制作すると原価が93円75銭かかり、予算が不足することは明らかでした。遠藤氏は仲裁案を出す時から広告を取って補てんしなければならないと考えていたようです。

定価100円は1962年12月号まで、1974年12月号まで定価110円が続きました。しかし、印刷代や諸物価の値上がりにより、1975年1月号から定価200円に、そして2022年7月号から定価275円(本体価格250円)に改定しました。

現在でも広告は友事務所にとって大事な収入源となっています

① 国際ロータリー (R I) が指定する記事を掲載する



Rotary

「ロータリーの友」紹介 | 5

② 国際ロータリー (RI)の方針を伝えること



Rotary

「ロータリーの友」紹介 | 6

